

各部会とも、中間報告・中間答申までの検討内容を整理し、残された課題の検討結果を加えて総括し、最終答申に向けた部会報告としてまとめた。（＊網掛けゴシック文字部分が新たに検討を加えた項目）

地域協議会部会報告

I 地域協議会の基本的なあり方

1. 設置エリア

- (1) エリア区分の基本的な考え方 ⇒ おおよそ 8 区分（中学校区程度）
- (2) エリアを越えた課題への対応 ⇒ 地域協議会間で連携して協議できる仕組み

2. 組織構成

(1) 組織構成の基本的な考え方

- ① メンバー構成 ⇒ 幅広い区民参加（地縁的組織とテーマ型組織のミックス、新たな参加の掘り起こし）
- ② 協議会の構成 ⇒ 「役員会」と「テーマ別部会」の 2 段階構成

(2) メンバーの選出方法

① 組織づくりの段階的な考え方

モデル事業当初 ⇒ 行政が一定のリーダーシップを発揮し役員準備会を立ち上げていく
将来の方向性 ⇒ 部会から役員を選出していくなど自主的な組織づくりへの転換を図る

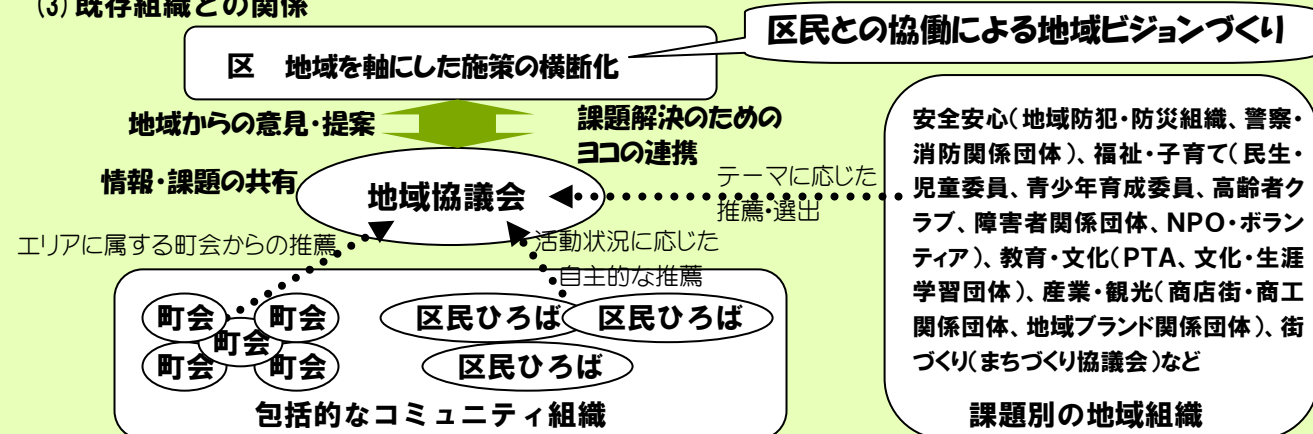
② 部会メンバーの選出方法

従来の枠組みを越える組織づくり ⇒ 行政が認知していない地域活動組織の掘り起こし

③ 地域 e モニターの活用

モデル事業のモニタリングを通じて新たな参加につなげる

(3) 既存組織との関係



(4) 事務局体制 ⇒ 行政組織内の横断的な連携体制、外部人材の活用、中学校等の地域内施設の活用

3. 役割・位置づけ

(1) 地域協議会の役割・機能 ⇒ モデル事業を通じた情報共有・協議・提案・課題解決各機能の具体化

協議会の提案を区政に反映させる仕組み ⇒ 区長の尊重義務、地域ビジョンづくりとのリンク
提案内容の具体化 ⇒ 区との協働事業としての位置づけ（事業の予算化、関係各課の調整・連携）

(2) 地域協議会の位置づけ

条例設置 ⇒ 従来の附属機関とは異なる「参加と協働」の視点に立った新たな位置づけ

II モデル事業の展開

- 1. モデル事業の基本的な考え方 ⇒ 地域を軸にした施策の横断化＋地域の多様な人・組織のヨコの連携強化
- 2. モデル事業の具体例案 ⇒ モデル候補：池袋西地域、北池袋地域、目白・雑司が谷地域

協働・政策部会報告

I 政策の実施過程における協働

1. 協働の視点に立った補助金制度の構築

- (1) 基本的な考え方 ⇒ 協働の視点に立った新たな補助金の枠組みの創設
- (2) モデル事業の展開 ① 「協働事業補助金」 ⇒ 補助期間・補助率等の弾力化、資金助成以外の支援の仕組み

2. 公益的な区民活動組織への協働事業委託の推進

- (1) 基本的な考え方 ⇒ 公益的な活動組織の公共サービス分野への参入拡大、民間企業への業務委託とは異なる価格以外の社会的価値の評価、行政提案型協働事業委託方式の導入

(2) モデル事業の展開 ② 「協働事業委託モデル事業」

⇒ 提案型（プロポーザル型）協働モデル事業＋ジョイントベンチャー型協働モデル事業

3. モデル事業を具体化するための環境整備

(1) 中間支援機能の強化 ⇒ 区民活動センターの機能強化（＊あり方検討委員会報告を踏まえた見直し）

(2) モデル事業の展開に向けた仕掛けづくり

⇒ ジョイントベンチャー型モデル事業の具体化に向けた活動組織間のコーディネート

II 政策の形成・評価過程における協働

1. 区民参加手法としての区民意識調査の活用

(1) 区民ニーズを反映した重点施策の選定

5 政策分野のうち 3 分野の見直し ⇒ 「区民参加による基本計画の進捗状況の確認」に一定の成果

(2) 課題と今後の活用のあり方

区政全般に対する区民意向反映手法 ⇒ 個別の施策・事業レベルでの参加手法は別途検討が必要
政策・施策体系と事業の仕分け ⇒ 行政組織体制も含め、課題に応じた横断化が必要

2. 政策 e モニター制度のモデル実施

(1) 新たな参加の掘り起こし効果の検証

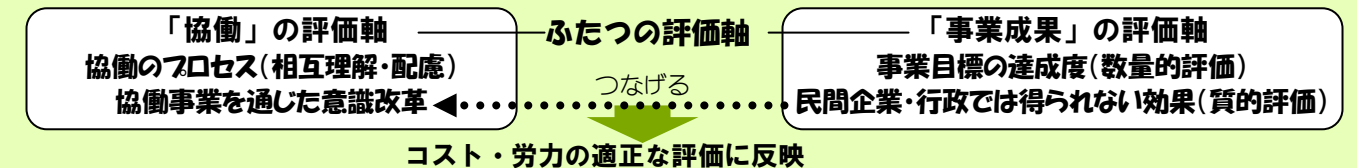
20 年度継続試行（テーマ「地域協議会」） ⇒ 関心の広がりから深まりへ

(2) 課題と今後の活用のあり方

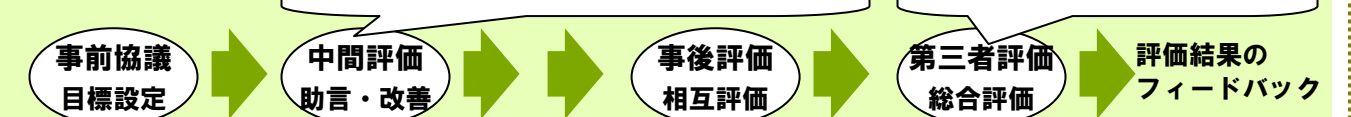
新たな参加手法としての活用 ⇒ 地域協議会モデル事業における「地域 e モニター」の導入

3. 協働の視点に立った評価のあり方

(1) 協働モデル事業における評価手法



【評価の流れ】

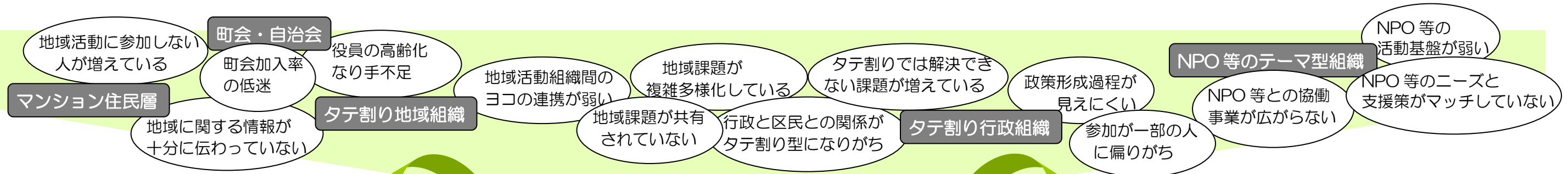


(2) 補助金制度全般における評価のあり方

総合的な評価システムの構築 ⇒ 交付状況・事業報告の公開、補助金の効果を検証する仕組み
補助金区分の見直し ⇒ 補助金制度改革による成果の検証、区分のあり方も含めた再構築

最終答申に基づく参加協働推進施策の全体イメージ

【現状】



どうしたら参加と協働を具体化できるか

地域を軸にした参加・協働の仕組み

【目標】

地域のまちづくりをみんなで考える場を作る

- ・地域を軸にした施策の横断化
- ・地域に関わる多様な人・組織のヨコの連携

【推進施策】

課題別の活動組織
分野別地域組織、NPO等

地縁的な活動組織
町会、地域区民ひろば

新たな参加
公募、地域eモニター

幅広い区民参加による協議の場づくり

地域協議会

- ①地域情報・地域課題の共有
地域単位のきめ細かなコミュニケーション
- ②地域課題に関する横断的協議
タテ割り施策・組織（地域・行政）の融合
- ③地域からのまちづくり提案
地域施策への区民意見の反映
- ④地域と行政の協働による提案の具体化
連携による「地域の力」の活性化

地域の個性を活かしたまちづくり
地域ビジョンの共有

自治の推進に関する基本条例

- ・計画等の策定・実施・評価の各段階における区民参加
- ・地域における協議会の設置

基本計画

- ・参加と協働のまちづくりに関する方針
 - ①政策形成過程への参加推進
 - ②協働による「新たな公共」
 - ③住民自治と協議の仕組みづくり
- ・分野別計画体系
（政策分野ごとに重点施策を選定）
＊時代の変化に対応した見直しの仕組みづくり

未来戦略推進プラン

- ・基本計画の実施プラン
（計画事業の展開）
- ・都市経営の戦略
戦略プロジェクト 50
（重点政策の展開・政策の融合）
- ・行政経営の戦略
（行財政改革、施設再構築）
- ・地域ビジョン
（地域別事業計画）

政策を軸にした参加・協働の仕組み

【目標】

政策の各過程への区民参加・協働を広げる

- ・政策形成過程への幅広い区民参加の掘り起こし
- ・公益的な活動組織の公共サービス分野へ参入拡大

【推進施策】

協働の視点に立った政策展開
地域経営の新たな手法

政策形成過程

- ①区民意識調査の活用
重点施策への区民ニーズの反映
- ②政策eモニター制度
無作為抽出による新たな参加の掘り起こし

政策サイクルに即した
参加・協働の仕組みづくり

政策評価過程

- ①モデル事業を通じた評価手法
「協働」と「事業成果」の評価軸
- ②総合的な補助金評価システム
補助金交付による効果の検証
透明性の向上

政策実施過程

- ①協働事業補助金
協働の土壌となる区民活動の活性化
- ②協働事業委託モデル事業
公益的な活動組織への事業委託の促進